



氷川町議会だより

清流 ひかわ

No.35

令和2年
3月定例会

ピカピカの
新一年生



- P2** 令和2年度一般会計予算
- P5** 議員発議で条例改正
- P6** 研修報告 先進地視察
- P7** 個人研修報告 人口減少対策
- P8** スポット 氷川町まちづくり酒屋
(氷川町まちづくり情報銀行)

防災公園の整備で安心・安全・

健康に暮らせるまちづくり

令和2年度氷川町一般会計

予算63億9977万円決まる

3月定例議会は、3月9日開会し、議員発議1件、条例の一部改正8件、条例の廃止1件、令和元年度一般会計補正予算他、特別会計補正予算4件、令和2年度一般会計予算他、特別会計予算4件、教育委員会委員の任命同意1件、全ての議案を原案のとおり可決しました。

◆議員発議

○氷川町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
職員に支給されている「住居手当」を、町外に居住する職員には支給しないとするものです。町内に居住する職員には従前どおり支給されます。

◆条例の一部改正

○氷川町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づいて、一般職の職員の給与改定及び特別職の職員の期末手当の支給率の引き上げに伴い、議会議員に支給される期末手当を引き上げるものです。

○氷川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
議会議員と同じ改正内容で、町長等に支給される期末

手当を引き上げるものです。

○氷川町消防団条例の一部改正
消防団員の報酬改定と公務災害時の補償及び退職報酬金の支給規定を追加するものです。

○氷川町国民健康保険税条例の一部改正
国民健康保険税の賦課限度額の引き上げと国民健康保険税の軽減判定基準額の改正をするものです。
※国民健康保険税医療分の賦課限度額が61万円から63万円に、介護納付金分の賦課限度額が16万円から17万円に改正。

○氷川町営住宅条例の一部改正
住宅入居手続きで「連帯

保証人が負う限度額は入居決定時の家賃3月分とする」を加えるものです。

○氷川町特定公共賃貸住宅条例の一部改正
氷川町営住宅条例の一部改正と同じ

◆条例の廃止

○氷川町少年自然の森条例を廃止する条例の制定
当該施設を閉鎖することとしたため、条例を廃止する。



傍聴者の入場を中止し開催された議会（傍聴は報道関係者）

新型コロナウイルス感染予防対策で 3月議会の会期を2日間に短縮しました

3月議会の日程は、3月9日開会し17日までの予定でしたが、全国的に新型コロナウイルス感染が広がる中、氷川町議会運営委員会（三浦賢治委員長）で感染予防のために会期を短縮し、9日開会し、翌10日に討論採決の2日間の日程で行うことを決めました。そのため、各常任委員会と一般質問を取りやめました。また、本議会の傍聴も中止にしました。

主な事業 一般会計

○議会費

- ・議員報酬 3446万円
- ・議長交際費 25万円
- ・議会インターネット
- ・ライブ映像配信 53万円

○総務費

- ・特別職給与 2222万円
- ・町長交際費 90万円
- ・区長業務委託料 1926万円
- ・地方バス対策補助金 1573万円
- ・地域おこし協力隊 210万円
- ・活動助成金 2510万円
- ・行政区活動活性化交付金 200万円
- ・移住支援金 2750万円
- ・ふるさと納税事業支援 346万円
- ・業務委託料 2750万円
- ・国勢調査指導員・調査員報酬 150万円

○民生費

- ・高齢者等福祉タクシー実証実験事業 300万円
- ・いきいきサロン事業委託料 405万円
- ・食の自立支援事業 1404万円
- ・竜北西部学童保育所建設費

○衛生費

- ・地土地購入 1855万円
- ・放課後児童クラブ健全育成事業委託料 2304万円
- ・病児・病後児保育事業委託料 1290万円
- ・子ども医療費助成 4764万円

○農林水産業費

- ・健康委託料 2323万円
- ・合併浄化槽設置整備事業補助金 283万円
- ・生ごみ処理機等購入費助成金 475万円
- ・八代産産表認知向上・需要拡大推進協議会負担金 210万円
- ・い業機械再生支援事業補助金 667万円
- ・豊表張替助成事業 150万円
- ・農業次世代人材投資事業補助金 3300万円
- ・有害鳥獣捕獲事業補助金 540万円

○農林水産業費

- ・住宅リフォーム等促進事業補助金 800万円
- ・創業支援・事業所等整備促進

○商工費

- ・農業者等福祉タクシー実証実験事業 300万円
- ・いきいきサロン事業委託料 405万円
- ・食の自立支援事業 1404万円
- ・竜北西部学童保育所建設費

○土木費

- ・空き家バンク促進補助金 600万円
- ・町道修繕料 946万円
- ・道路維持修繕費工事請負費（5路線） 3076万円
- ・道路新設改良工事費工事請負費（5路線） 2850万円
- ・二級河川堤防雑草除去委託料 814万円
- ・氷川警察署跡地用地購入費 1860万円

○消防費

- ・八代広域行政事務組合消防本部負担金 2億3184万円
- ・小型動力ポンプ積載車購入費 3391万円
- ・消防用施設整備補助金 351万円
- ・防災マップ作製業務委託料 350万円
- ・野津防災公園整備工事（第

○教育費

- ・ICT支援業務委託料 580万円
- ・外国語指導助手派遣業務委託料 502万円
- ・英語検定受験助成金 29万円
- ・大野窟古墳羨道空洞部復旧工事請負費 130万円
- ・八火図書館図書購入費 400万円

○公債費

- ・町債元金償還金 8億9716万円
- ・町債利子償還金 3998万円



氷川警察署跡地

一般会計予算の主な事業



町道今・桜ヶ丘線（宮原小学校付近）



町道河原鹿島西網道線



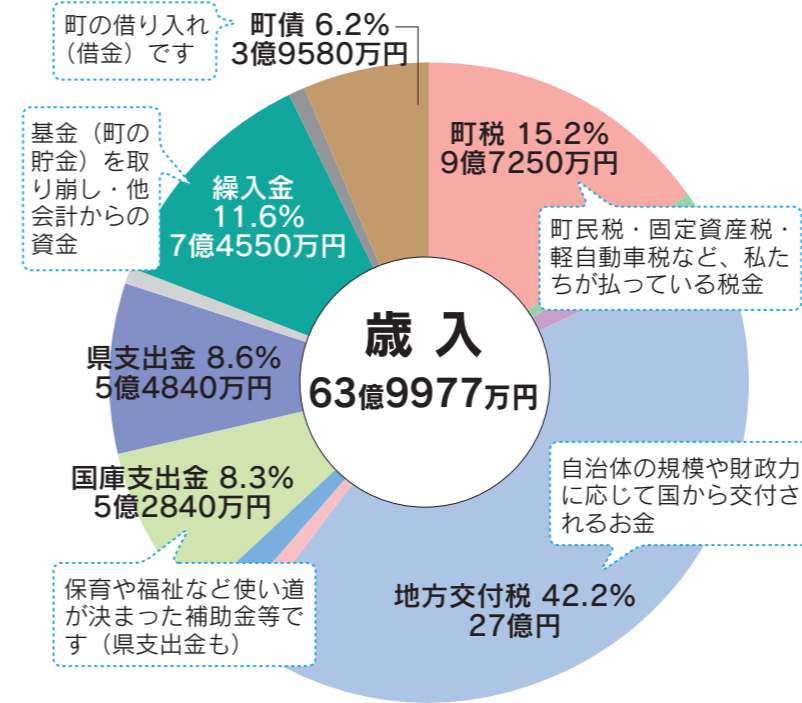
住民健診（健康センター駐車場）



網道防災公園予定地周辺

令和2年度氷川町特別会計予算

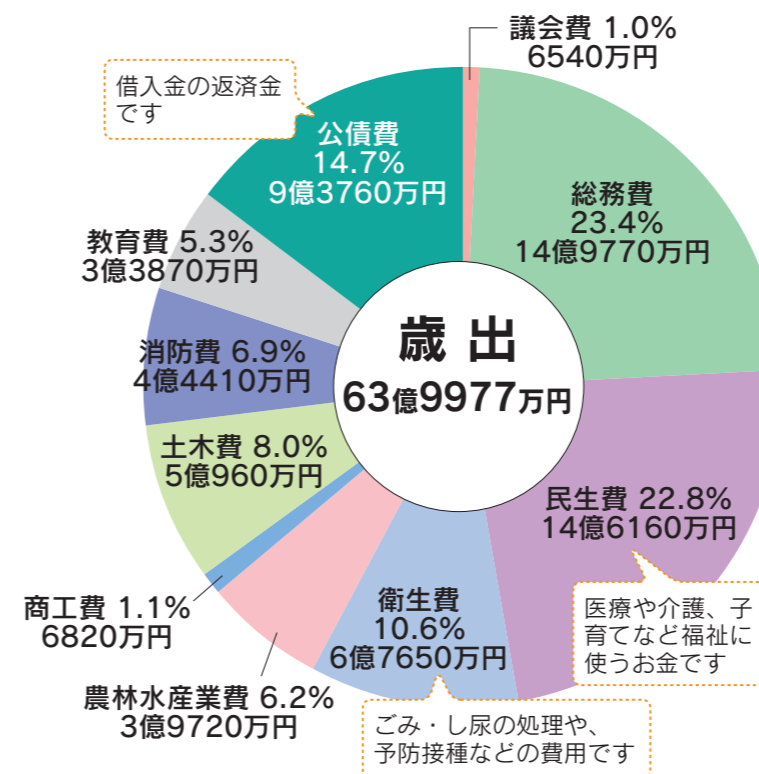
会計名	予算額
国民健康保険特別会計	20億 476万円
介護保険特別会計	18億4016万円
後期高齢者医療特別会計	1億7875万円
下水道事業特別会計	6億4715万円



令和2年度氷川町一般会計予算

- 町民一人当たりの町税負担金 **8万4790円/年**
- 町民一人当たりの歳出予算額 **55万8000円/年**

令和2年3月31日の人口による。予算の金額は10万円単位で四捨五入しているため合計金額は一致しません。



町外居住職員に住居手当なし 議員発議で条例改正

議員発議：米村洋議員提案

氷川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、私、氷川町議会議員、米村洋が提案者になり、三浦賢治議員はじめ十一名の議員の連名で提出いたします。

氷川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、氷川町一般職の職員の給与に関する条例（平成17年氷川町第38号）の一部を次のように改める。

第8条の2、第1項第1号の「自」の前に「本町の区域に」を加える。附則として、この条例は令和2年4月1日から施行する。

提案理由については、一般職の給与については、地方公務員法第24条第2項により、生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員並びに民間事業の従事者の給料その他の事情を考慮して定めなければならぬと規定されて本町でも国

に準じた給料体系となっているが、この規定にある民間事業の従事者の給与を勘案する上で、公務員と民間の給料の格差に不満を持っている多くの町民からの声もある。こうしたことから、特に住居手当について住みよいまちづくりを推進して、人口減少を少しでも食い止めようとするのが町の立場である。職員は町内に居住し、地域住民とともに行動し、災害時の緊急時にできるだけ速やかに対応できるように、職員が町内に居住することを最善と考える。そのため条例の一部を改正する提案をするものであります。

賛成 討論

上田俊孝議員 人口減少は、地方行政にとっては死活問題だと思えます。東京都も2025年から人口減少になるという報道機関もあります。それと、平成17年に氷川町が誕生して早15年になります。再三、職員の方にも、歴代町長も促されていたということも私は聞いております。その中で、こういう状態の中で、発議者の提案に賛成です。

片山裕治議員 職員の方が地域に住んでいただく、安心・安全なまちづくりの原動力になると思えます。理解をしていただきまして、氷川町内に住んで頂きたい。

反対 討論

吉川義雄議員 発議者はこれまで、職員は氷川町に住んでくれ、こういう気持ちです。しかし、条例改正は時期尚早だと思います。もっと職員と話し合う場があってもよかったです。地方公共団体は、職員の健康、元氣、回復、その他、厚生に関する事項について計画を樹立し、これを実施しなければならぬという規定もあり、地方公共団体の負担で職員の宿舎を建設することが広く行われてきました。職員の中には氷川町に住居を求めたが条件が合わず町外に住まざるを得なかった人もいます。町は住宅政策を進めることが先です。当該職員との合意を得てから条例改正すべきで、私は反対です。

提出された主な議案に対する各議員の賛否

議員名	西尾正剛	木下厚	河口涼一	清田一敏	長尾憲二郎	吉川義雄	上田俊孝	三浦賢治	上田健一	松田達之	片山裕治	米村洋
氷川町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正（議員提案）	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○
氷川町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
氷川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
氷川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氷川町消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氷川町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氷川町営住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氷川町特定公共賃貸住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度氷川町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度氷川町一般会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度氷川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度氷川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度氷川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度氷川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氷川町教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議員提案以外の議案は町長提案です

○ 賛成 ● 反対 ▲ 棄権 — 表明無し
一印は、議長職務のため賛否の表明はありません

住民に分かりやすく 読んでもらえる広報誌に

先進地視察研修報告―議会広報委員会

令和2年1月27日～28日、福岡県岡垣町議会と久山町議会で、議会広報視察研修を行い、議会広報誌づくりの方法や工夫されている点・苦勞している点などの意見交換を行いました。また、岡垣町議会が行っている「住民懇談会（議員と語ろう）」についても詳しく説明を受けました。

他の広報誌を研究 良いところを参考に 岡垣町議会だより

岡垣町議会では、森山浩二議長より歓迎のあいさつを受けた後、平山正則議会広報常任委員会委員長から、パワ...



森山議長の挨拶を受ける氷川町議会広報委員

ポイントを使って広報誌づくり・岡垣町議会住民懇談会の取り組み状況の説明を受けました。

民主的なまちづくりへ 議会が住民懇談会開催

岡垣町議会では、「岡垣町議会では、住民との対話を進め、議会と町政を住民が分かり易く理解することで、住民と連携が図られ、民主的なまちづくりが行われることを目的とし、住民懇談会を実施する（岡垣町住民懇談会実施要項）」に基づいて、平成20年度から「岡垣町議会住民懇談会（議員と語ろう）」を行っています。

岡垣町では、議会広報誌の表紙写真は委員全員が撮影し、その中から選定をする。議決の状況（賛成・反対表）各議員氏名入り一覧表、賛成・反対討論を掲載。一般質問は一人600字、質問者が質問後、翌々日の朝9時まで提出することになっています。広報誌づくりでは、常に他の自治体の議会だよりを研究し、よいところは参考にすると、町の広報誌と同日発行となるので、内容が同じにならないように注意している。また、一般質問で取り上げたところがどうなったかを掲載したいとのことでした。

当初の対面方式では参加する人も発言する人も限定されるなどあり、参加者全員から発言をしてもらうために、ワールドカフェ方式に変えて開催。議員を6テーブル（1テーブル2名）に分け、テ...



住民懇談会（岡垣町議会だより）

広報誌に住民登場 久山町議会だより

久山町議会では、阿部文俊議長より歓迎のあいさつを受けた後、議会広報特別委員会...

久山町議会では、一般質問は、一人800字以内でまとめる。原稿は事務局から粗原稿を受けてから3日以内に提出することになっています。一人1ページ、見出しは2行で字数を少なくし一目でわかるように努力され配色もよく、大変見やすく作られています。紙質もよいので写真が綺麗でした。

マを決めて行っています。住民懇談会で出た意見を委員会で集約し報告書を作成、議員と執行部で共有しています。また、今後は委員会が調べています。久山町は、人口が増加してきているので新しく町に来た人を「かけはし」に登場してもらい、町の良さ課題を語ってもらう企画は大変参考になりました。久山町議会では、議会だよりを議員の手で町内全戸に配布をされています。「議員が配布する時、地域を調査するいい機会ですよ」とのこと。議員の努力に大変感心しました。研修で学んだことを今後の広報誌づくりに活かしていきたいです。



久山町議会だより

人口減少対策―日本の成功例 人口対策処方箋：地方議員研修

個人研修報告―西尾正剛

現在、社会の在り方が多様化し、地方議員にも種々の知識が求められている。

氷川町でも、議員の自主研修を目的に、平成31年度から『自主調査及び研修費』として一人当たりの旅費年間6万円が予算化された。研修会参加の受講料は自己負担である。

地方議員を対象とした多くの研修プログラムがあるが、今回は元佐賀県武雄市長の樋渡啓祐氏を講師とした「人口減少対策 日本の成功例―人口対策の処方箋」の研修を選んだ。日程は1月30日から31日の2日間、研修会場は

東京日本橋のカンファレンスセンターであった。樋渡啓祐氏は、歯切れのよいテンポで、具体的な話を展開された。

成功事例として、千葉県流山市を紹介された。流山市の成長戦略は、①都心等への交通利便性の改善 ②緑豊かな良質な住環境の維持・向上 ③快適で楽しい都市環境の創出 ④住みたい町としてのブランド化の4つである。街全体に木々を植え、緑あふれる・景観の美しい住宅地、リフレッシュできる街にしたことにより、流山市ブランドが確立し、住みたい街として認識され、その結果、転入者が多くなった。

もう一つは島根県邑南町が紹介された。この町は「日本一の子育て村を目指す」をスローガンに、きめ細かな取り組みが実施されている。○保育料第2子目以降完全無料化 ○町内2カ所に病児保育設置 ○24時間救急対応の安心な医療 ○学校図書室の充実 ○町



地方議員研修（東京 カンファレンスセンター）

内唯一の高校の存続と支援 ○子育て支援ポイント制度（子育てサービスを利用するとポイントがたまり、そのポイントは町内の買い物券として利用）○子どもまるごと相談室の設置 等々。これらの取り組みが功をなし、1年間の町へのUターン者は100名を超え、その4分の1は20代から30代の女性である。若い世代の転入は、今後の人口増加に多いに期待できる。

最後に武雄市も紹介された。思い切った政策と、マスコミへのアピールにより、全国から注目されるようになり、人口増加率がアップしたとの説明があった。

今回の研修には、全国から105名の地方議員の参加があった。人口減少はどの市町村でも大きな課題であり、全員熱心に講義を聞き、活発な質疑応答がされた。

氷川町の住民アンケートで、「氷川町は住みやすい」と多くの意見があった。自然もたくさんあり、誇れる所が多い。医療費は高校生まで無料である。人口減少を緩やかに抑え、皆が住みやすく、住み続けられる町づくりの必要性を強く感じた研修だった。

氷川町教育委員会委員の 任命に同意

氏名 森野文湖
住所 氷川町鹿野

藤本一臣町長から、氷川町教育委員会委員に任命したので、議会の同意が求められました。議会は慎重審議し、全会一致で任命に同意しました。

吉川義雄議員 熊本県町村議会議長会表彰



吉川義雄議員が熊本県町村議会議長会から、議員歴23年以上の表彰を受けました。3月9日開かれた、3月議会の冒頭、米村洋氷川町議会議長から吉川義雄議員に、表彰状の伝達が行われました。

スポット

氷川町まちづくり酒屋

氷川町まちづくり情報銀行

(旧井芹家住宅) (国登録有形文化財)

まちづくり酒屋は、主屋・蔵・本門・煉瓦塀・土塀の5棟が登録を受けています。主屋は木造2階建て、1832(天保3)年創建で、1873(明治6)年に増築されています。井芹家は、江戸時代には醸造業を営んでおり、「つくり酒屋」の名称は、そこからつけられました。

主屋は二列型(表に店等裏に座敷等の二列の配置の町家形式(店舗併設の住宅)ですが、改築された門の床はタイルが敷かれ、近代的な造りになっています。また、敷地の境に造られた塀は、厚く赤い煉瓦をイギリス積(小口積と長手積



まちづくり情報銀行

を交互に段違いで積む)で積み上げたもので、重厚な造りです。

令和元年度は、経年劣化や熊本地震により漆喰が落ちるなどの被害を受けているため、修理を行いました。

旧井芹銀行は、九州実業銀行(熊本市)を買収して、1920(大正9)年に本店が開設されました。しかし手狭になったため、5年後に新しく建て直されました。それが現在残っているまちづくり情報銀行です。

その後1942(昭和17)年、肥後銀行と合併し、1969(昭和44)年まで肥後銀行宮原支店として使用されていました。

建物の設計・施工は大正10年創業の増永組で、鉄筋コンクリート造2階建て構造外観は玄関庇廻り・柱頭・窓回り等に幾何学パターンの装飾が見られます。井芹銀行は、大銀行と呼



氷川町まちづくり酒屋

喫茶 SAKAYA



ばれた中央の銀行でなく、地方の大地主によって設立された銀行であり、また設計・施工も地元業者によってなされたという点が特徴の建物です。

●表紙のひょうじょう

4月9日、氷川町竜北西部小学校で令和2年度の入学式がおこなわれました。

新型コロナウイルス感染予防のため、在校生や来賓の出席はありませんでした。24名の新入生は自分の名前を呼ばれると元気に手を上げ「はい」と返事。おおきな声が体育館いっぱい響いていました。



校長先生の話聞く新入生



●編集後記

世界中を脅かしている新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、日本でも緊急事態宣言が発表されました。

新型コロナウイルスの感染が拡散する前に氷川町では、3密(気密、密集、密閉)を避ける為に、氷川町内外行事は、密室での会議や会合など集まり等、行政はいち早くいろいろなイベントを中止するよう発表し予防に徹しました。

氷川町議会も、行政と協議して、会期を2日間としました。氷川町では感染者が出ていませんが、拡散させない為にも大人の責任として、予防に徹底し、密集している所には出かけない様、お互い注意しましょう。また、「お年寄りや幼い子供を新型コロナウイルスから守りましょう」「ご安全に」

(長尾)